

## 【オプトアウト公開文書】

対象者様またそのご家族の方へ

長崎記念病院では 2025 年9月9日付けで長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学系倫理委員会の承認（研究許可番号25080708）を得て、下記の研究を実施しています。ご協力とご理解をお願いいたします。

なお、研究への参加は拒否することができ、拒否をしても不利益を被ることは絶対にありません。

### ＜オプトアウトの対象となる方＞

2017年7月～2025年6月に長崎記念病院の療養病棟（2階病棟または4階西病棟）入院していた方で、活動量計を用いて日中（午前9:00～午後17:00）の身体を動かす量を計測した方。

研究の拒否をする場合は、下記の問い合わせ先まで電話またはメールにてご連絡ください。なお、ご連絡の期限は2026年3月31日までとさせていただきます。

### ＜研究テーマ＞

寝たきりを予防する身体活動量の基準値の検討－3軸加速度計を用いた後方視的研究－

### ＜研究目的・意義＞

心身の機能が低下した高齢者が寝たきり状態に至らないために身体を動かす量をいかに確保するかは重要な課題です。本研究は心身の機能が低下した高齢者の方が寝たきり状態へ移行しないためにはどの程度の身体を動かす量を確保しないといけないか？ということ明らかにするために行います。本研究によりその基準値が明らかになれば、寝たきり予防に向けた効率的なケアやリハビリテーションの提供に繋がります。

### ＜研究方法＞

- 1) 2017年7月～2025年6月に長崎記念病院に入院し3軸加速度計を用いて身体活動量を計測した方の中から、心身機能の低下が中等度、重度、非常に重度（ねたきり）の状態であった方をそれぞれ30名ずつ選択します。
- 2) その方々の基本的な患者情報（年齢、性別、身長、体重、Body Mass Index(BMI)、疾患名、既往歴、栄養管理手段）と身体活動量のデータを収集します。
- 3) 統計学的手法を用いて、寝たきり状態とそうでない状態の身体活動量の基準値を求めます。

### ＜研究期間＞

2025年10月～2026年3月

<利用する試料・情報とその取り扱い>

- 1) 基本情報：年齢，性別，身長，体重，Body Mass Index(BMI)，疾患名，既往歴，栄養管理手段
- 2) 身体活動量のデータ
  - 上記のデータは個人の氏名がわからないように匿名化し取り扱います。
  - すべてのデータは本研究以外の目的で使用しません。
  - データの保管は長崎記念病院リハビリテーション部の鍵のかかる保管庫で管理します。研究が終了後，保管していたデータについて，紙媒体は破棄しデジタル化したものは永久保存する。
  - 研究結果は学会・論文投稿で公表しますが，個人は特定できないようにします。

<研究組織>

研究責任者：片岡 英樹

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻理学療法分野 客員研究員  
社会医療法人長崎記念病院リハビリテーション部 部長

共同研究者：

後藤 響

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻理学療法学分野 客員研究員  
社会医療法人長崎記念病院リハビリテーション部 副部長

中川 晃一

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻理学療法学分野 客員研究員  
社会医療法人長崎記念病院リハビリテーション部 主任

井上 凜子

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻理学療法学分野 修士課程2年  
社会医療法人長崎記念病院リハビリテーション部

西 祐樹

長崎大学生命医科学域（保健学系） 助教

坂本 淳哉

長崎大学生命医科学域（保健学系） 准教授

沖田 実

長崎大学生命医科学域（保健学系） 教授

<問い合わせ先>

〒852-8520 長崎市坂本1-7-1

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻理学療法分野 客員研究員

社会医療法人長崎記念病院リハビリテーション部 部長

研究責任者：片岡 英樹

TEL（長崎記念病院）：095-871-1515

E-mail：kataoka-hide@kii.bbiq.jp